

第1学年 生活

第1学年の学習到達目標

- (1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。
- (2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどを言葉、絵、動作、劇化などにより表現できるようにする。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	いちねんせいになったよ みんななかよし ながあるかな さあ、たんけんた	友達と仲よく遊ぶ。 学校の人々や生き物、事物に自分からかかわる。 学校になじみ、楽しく学校生活を送る。 見つけたことや気付いたことを知らせあう。	遊ぶ、探検する、話す、聞く、歌う。 身体で表現する。 絵カードをかく。 学校の植物や動物にふれる。
	ぐんぐんのびろ	楽しみながら意欲的に植物を育てる。	花や野菜の種をまき、意欲的に育てる。
	がっこうのまわりをさんぽしよう	安全に留意して通学したり、学校のまわりで活動したりできる。	交通に注意しながら、学校の周りに出かける。
	あそびばへいこう なにをしてあそぼうかな	地域の人々や自然にかかわり、親しむ。	公園や野原で遊具や自然物を使って遊ぶ。
	なつがきたよ あつくなってきたね たのしいななつやすみ	夏や梅雨の季節を工夫して楽しく遊ぶ。 夏休みを意欲的に元気に過ごす。	水や土、砂で遊ぶ。 雨の日に遊ぶ。 夏休みの計画を立てる。(話し合い、製作など)
	ぐんぐんのびろ げんきにそだて	収穫や生命の誕生を喜び、慈しむ。 生命の連続性に気付く。	花や種、野菜を収穫する。 秋植えの花や野菜を植える。 学校の生き物の世話をする。
後期	だいすきだよ いえでこんなことをしたよ しごとめいじんになれるかな いえでもチャレンジ!!	自分にもできる仕事をみつけ、家族の一員として自覚する。家族を見つめ直し、いっそう好きになる。	楽しかったことや仕事の紹介・実演を行い、さらに家でも実践する。
	ちいきあんぜんまっぷをつくろう	自分の地域で犯罪の起こりやすい場所に気づき、危険なめにあわないように気をつける態度を養う。	地域安全マップについて知り、危険な場所を判断する基準を理解する。 決められた地域についてフィールドワークし、調べた結果を地図にまとめる。
	あきになったねきもちがいいね なにをしてあそぼうかな あそぼうかざろう	季節を体感し、楽しむ。 自然の中で遊びこんだり、製作活動を行ったりする。地域の人々や自然と積極的にふれ合う。	秋の公園や野原で遊具や自然物を使って遊んだり、地域の人とふれ合ったりする。
	たのしみだねふゆやすみ もうすぐお正月	冬休みを意欲的に過ごす。	冬休みの計画を立てる。(話し合いなど) 生活すごろくを作る。
	わくわくふゆがやってきた きたかぜとともだち むかしからのあそびをしよう	季節の中で元気に遊び、生活する。 伝承遊びを楽しみ、広げる。	寒さに負けず、元気に遊ぶ。 伝承遊びをしたり、おもちゃを作ったり遊ぶ。
	たのしかったね1ねんかん おもいでがいっぱいできたよ あたらしい1ねんせいがくるよ	自分の成長を実感する。 上級生になる期待と意欲をもつ。 早春の季節を体感し、楽しむ。	一年間の楽しかったことや自分の成長を振り返る。 新入生を迎える準備をする。 春みつけをする。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【生活への関心・意欲・態度】</p> <p>身近な人，社会，自然及び自分自身に関心を持ち，進んでそれらとかかわり，楽しく学習したり，意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。</p> <p>【活動や体験についての思考・表現】</p> <p>調べたり，育てたり，作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について，自分なりに考えたり，工夫したりして，それを素直に表現する。</p> <p>【身近な環境や自分についての気付き】</p> <p>具体的な活動や体験をしながら，学校や家庭及び自然や動植物，自分の成長などの様子に気付いている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>生活科は，あれこれの知識を覚えればよい科目ではありません。生活の中に生きて働く力を育てることを目指しています。子どもたちが身近な環境や自分自身に関心を持ち，進んでそれらとかかわり，楽しく学習や生活をしようとしているかの実践的な態度をみます。</p> <p>生活科では具体的な活動や体験を通して学習しますが，ただ単に活動すればよいのではなく，いろいろ考えたり工夫したりしてよりよいものを求めていく姿を大切に評価します。</p> <p>身近な環境や自分についての気付きは，生活科だけがもつ観点です。他の教科でいえば「知識，理解」に近いものですが，生活科では「気付き」と位置づけています。教えられて受動的にわかるのではなく，自分から主体的に環境とかかわり，その中で気付き，分かることを大切に評価していきたいと思えます。</p>
---	--

特色ある学習方法

<p>(1) 生活科の学習の特質</p> <p>児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にします。</p> <p>人，社会，自然を一体的に扱います。</p> <p>人，社会，自然は本来一体的に存在しており，児童はそれらを一体的に感じ取る傾向が強く，大人のように客観的に区別して理解しているのではないからです。</p> <p>児童が自らの思いや願いを実現していく過程を重視します。</p> <p>身近な人々，社会及び自然についての気付きとともに，そうした気付きをする自分自身の成長にも気付くことができるようになることを重視します。</p> <p>生活上必要な習慣や技能を身に付けることを求めています。</p> <p>(2) 1・2年生合同で学習する時があります。(学校案内・生き物広場など)</p> <p>(3) 見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして直接働きかける学習活動をします。また，そうした活動の楽しさやそこで気付いたことを言葉，絵，動作，劇化，などによって表現していきます。</p> <p>(4) 矢野の町探検をし，人々とかかわりを大切にしていきます。また，四季を通して自然とかかわれることができるようにします。</p>

使用教材等

<p>教科書「わくわくせいかつ 上」(啓林館)</p> <p>記録用ボード・生活科ワーク</p> <p>画用紙，色画用紙，折り紙，身の回りの材料，素材など</p>

留意事項

<p>(1) 生活科では学習の対象や場が子どもの生活圏であり，学習によっては保護者の皆様にご協力をお願いする場合があります。</p> <p>(2) 学習活動によってはご家庭で材料を集めたり，用意したりしていただく場合もあります。学年だよりでその都度お知らせいたします。</p>
--